

弓道ながの

第9号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL 0269 (62) 4121
編集：県弓連広報部会
印刷：㈱長野企画会

平成16年度 県弓連役員総会報告

理事長 櫻井耕三

二月八日、長野第一ホテルにおいて、平成十六年度役員総会が開催され、次に掲げる議題について報告・審議されて決定した。



あいさつする古澤会長

- 1 平成十五年度事業報告
 - 2 平成十五年度決算報告
 - 3 会計監査報告
 - 4 平成十六年度事業計画案
 - 5 平成十六年度予算案
- 一部修正して決定した。修正点と新設の講習会について記す。
- 申し込み・参加料要する射会は締切10日前、県外審査は主管本部締切20日前に申し込む。
- 会員管理システム導入に伴う審査申し込みは、平成16年前半は従来の主管支部での処理とコンピュータが処理を併行して行なう。
- ブロックで実施される講習会
- 1 地連幹部講習会 富山県
 - 2 学校指導者講習会 福井県
- 全弓連で実施される講習会



- 1 指導力向上指導者講習会
- 2 競技力向上指導者講習会

○その他

1 8月9日(月)

第35回全日本教職員弓道選手権大会が県営飯田弓道場で開催される予定であることが報告された。

2 長野県弓道連盟史編集委員会の費用については、特別会計を組むべきであるとの意見が出された。

3 会員名簿について

現在の会員名簿は非常に見づらいので、見やすい書式に改訂することが決定された。

4 評議員から、各部への要望・意見が出された。

☆新成人女子で三石選手が初優勝!!
第54回三十三間堂大の全国大会

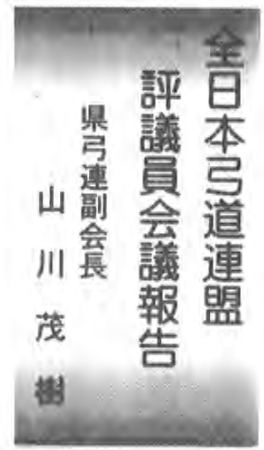
○1月18日

京都市三十三間堂特設射場

過去最多の二、三二六人が参加、新成人は男子七十四人、女子九十四人、一般は六七八人が参加する盛況であった。

奉射の皆中者は成人男子三十七人、女子十五人、一般四三人でそれぞれ決勝へ進み、成人女子では射詰競射を行わず遠近競射で、見事三石智香さん(参段・信州大)が初優勝した。

長野県弓道連盟
ホームページ
URL <http://kyuren.cool.ne.jp>



**全日本弓道連盟
評議員会議報告**

県弓道連盟会長
山川茂樹

平成十五年度通常評議員会が、三月十八日に全弓連中央道場二階講堂において開催されました。桜井理事長と出席しましたので概要について報告します。

評議員一〇八名中、出席八二名、委任状二三名で評議員会が成立した、鴨川全弓連会長が議長となつて議事が進行されました。

一号議案

十六年度事業方針(主要な項目)

友好国弓道団体の切なる希求もあり、国際化の問題について、その気運もたかまったので、国際連盟設立を企画した。底辺拡大・将来を担うジュニアへの普及対策として、その後継者育成のため、全国中学生弓道大会の実施を考えた。今期は役員任期満了、改選期でもあり、ルーチン化された事業及び予算を計上した。目標に向かって全国会員のご協力をお願いしたい。

二号議案

十六年度事業計画書

弓道の普及振興に関する一般方針の樹立として、主だった事業と予算について説明。

三号議案

十六年度行事計画書

機関紙「弓道」三月号に掲載。

四号議案

十六年度分担金

長野県連分 二七七千円

全弓連合計 八、一八六千円

五号議案

十六年度収支予算書(主要な項目)

特別会計を七口から五口に整理統合した、その内訳は次のとおり

1. 出版広報事業

2. 国庫助成金等事業

特定資金(3. 中央道場営繕積立

金会計・4. 事業強化資金積立金会

計・5. 名誉会員会費積立金会計)

収支予算総括表(単位千円)

当期収入合計 三九二、二四二

当期支出合計 三七四、〇一〇

一般会計

当期収入合計 四八〇、九九七

当期支出合計 二五五、五八〇

特別会計

出版広報事業

当期収入合計 一〇五、七二〇

当期支出合計 一〇五、三三〇

国庫助成金事業

当期収入合計 五、四〇〇

当期支出合計 五、四〇〇

中央道場営繕積立金会計 次期繰

越収支差額 七六、七九五

事業強化資金積立金会計 次期繰

越収支差額 二一、〇一〇

名誉会員会費積立金会計 次期繰

越収支差額 一〇三、六三四

六号議案

十五年度(功労者表彰)受章者

叙勲受章者 六名

(旭日双光章 大久保秀雄先生)

地連会長勇退 五名

七号議案

国際弓道連盟設立について

準備委員会設立にむけて具体的な案を現在検討している、各国弓道連盟と調整を図り、五月の評議員会にかけ、早い時期に設立総会が開かれるようすすめたい。

八号議案

中央道場の施設整備について

近的・遠的射場の的前審番席の整備等。

九号議案

国民体育大会に関する事について

全競技に適用する参加資格(総則六)以外に、各競技団体で独自に定めている参加資格については、次年度大会以降、撤廃するよう日本体育協会から要請があった。

報告事項

1、十五年度優秀地連得点途中経過について

2、明治神宮境内整備事業奉賛金について

3、全弓連会員管理システムの稼働について

以上報告事項を含めすべての議案が提案どおり可決されました。



北信越弓道連合会 会長・理事長会議報告

平成16年3月13日 金沢市

県弓連出席者 会長 古澤 博

理事長 桜井 耕三

決定事項

平成16年度事業計画

一、北信越弓道連合会会長理事長会議

(1) 8月27日金沢市(北信越国体)

(2) 11月13日金沢市(北信越選手権)

二、北信越四・五段講習会

(1) 5月23日(信越の部)

長岡市市民体育館弓道場

(2) 6月20日(北陸の部)

大島町弓道場

三、北信越称号受有者講習会

(1) 5月23日

長岡市市民体育館弓道場

(2) 4月4日

大島町弓道場

四、北信越地区女子講習会

6月19日・20日

上越市弓道場

五、北信越地区指導者講習会

5月29日・30日

福井県立武道館弓道場

六、北信越地区学校指導者講習会

7月31日・8月1日

福井県立武道館弓道場

七、北信越地区地連幹部指導者講習会

17年3月19日・20日

飯山市弓道場

八、全日本選手権大会

北信越ブロック予選会

7月25日 上越市弓道場

九、第25回北信越国民体育大会

8月28日・29日

石川県立武道館弓道場

十、第34回北信越弓道場選手権大会

11月14日

石川県立武道館弓道場

十一、北信越連合審査

(1) 6月6日(信越の部)

上越市弓道場

(2) 7月4日(北陸の部)

大島町弓道場

(3) 10月17日(北信越の部)

長野県営飯田弓道場

十二、(北信越) 錬士臨時中央審査

6月13日 大島町弓道場

十三、(北信越) 臨時中央審査

9月25日・26日

石川県立武道館弓道場

立議決定

第25回北信越国民体育大会

・少年男子

①新潟②石川③富山④福井⑤長野

・少年女子

①石川②福井③新潟④長野⑤富山

・成年女子

①福井②富山③石川④新潟⑤長野

第34回北信越弓道選手権大会

・男子有段者の部

①富山②新潟③福井④石川⑤長野

・女子有段者の部

①新潟②石川③長野④福井⑤富山

・称号受有者の部

①福井②長野③石川④富山⑤新潟

十四、全弓連理事選出(北陸地区より)

富山県弓道連盟会長 大角恭三氏

明鏡止水を目指して

..... 県弓連参与 市川 茂 太

明鏡止水とは、中国の禅僧荘子のこ

とばで、曇りなき鏡と澄んだ水を心境

にたとえたもので、意味深長であり、

ひと口にはいい現せない言葉であります。

安沢東宏著「大射道」(昭45・

6)の中には何回も出て来ます。

昭和30年代に全国鉄弓道大会が、宮

中の済寧館弓道場で行われた際特別講習会に安沢先生が来られ、直接弦を取ってもらった時、弓の力が体にしつかりはまり、夢中で頑張った時、「ヨーシ」と力強い掛声をかけて戴いた感激は、いまだに忘れ得ない思い出であります。

先生の「大射道」は弓道全体について論じられており、私の座右の書の一つであります。曰く「明鏡止水」とか「無我三昧」などは等はすべて大極に到達すれば同じ条理であり、相通ずる境地である。この道法一如、無凝神通の容(すがた)こそ真の自己個性の表現にて、これぞ射の「真道」である。又正しき魂が正しき身体と相融合し、一枚不二となって、心籍を三昧におきハッキリと自己を明鏡止水の境介に安

神立命せる姿を見詰め、射の上に明るき人格が発現するとき、敬虔恭敬の念が生じる。自己の射境が高くなるほどに明鏡となる。

弓道の目的に五つの的を挙げる。即ち世に処するには「誠実」を以つて的となし、友と交わるには「信義」を以つて的となし、業に従つては「精進」を的となし、家を治むるには「和合」を的とし、我が身を持するには「厳正」を的としなければならない。

又「一日一禅」(秋月龍珉著)では明鏡止水は、澄み切った鏡と静かな水と、心の本体の清澄虚明であり、心を明鏡止水の如く磨き澄しておきさえすれば、いつ如何なる事変が襲ってきても、それに処する方法は自然と胸に浮んでくる。

明鏡止水の心境は決して、生易しい修業では体得できない。

又「座右銘百撰」

(心の花)

では、明鏡とは鏡が磨

かれてけがれの無い状態、即ち心の中に曇りのない鏡のようなさまをいう。人はみな見るところだけ磨こうとするが、心の中を磨くことを忘れてはいまいか? 宮本武蔵は好んで「寒流月を帯びて、澄むこと鏡の如し」の句を書いた。これこそ、多年錬磨した精神や技術が明鏡止水の妙境に達したのだらう。

又最近の書で臨済宗の禅僧で芥川賞

受賞の玄侑宗久の「禅的生活」にも、明鏡止水は澄んだ鏡のような境地「無心」ともい、自由で清らかな心の状態で、それに到達しようとするのが、禅であると説いています。

一昨年長野県酒造組合が優良銘柄を



平成15年 喜寿の歳

発表した中に

「明鏡止水」

があつたので、早速販売店を探し買求め、以来その味を楽しんでいます。

昨年社会人

となつた孫

が、喜寿のお祝に、私の行射の写真をパソコンで画像処理をして、酒のレットル「明鏡止水」を挿入してくれました。

になった部分を紹介しておきたいと思えます。

一、長野県勤労者弓道選手権大会

兼全日本同長野県予選会について従来一チーム五人編成であつたが、今年より全国大会の実施要綱が五人から三人に変更になった為、県大会・本大会県予選会も三人チームに変更いたします。

予選は一チーム二十四射、的中上位より四チームを選出。決勝はリーグ戦で一チーム十二射の的中制で順位を決定し、上位二チームを長野県代表とする。

二、全日本男子・女子弓道選手権大会

長野県予選会について
一次予選を採点制により四射(一手二回)行い得点上位より男女各十五名を選出する。二次予選を採点制により二射(一手)を行い得点上位より男女各十名を選出する。決勝は的中制により四射(一手二回)行いの中上位より男女各六名を選出し、北信越ブロック予選会に出場するものとする。

三、長野県弓道遠的選手権大会
兼全日本同長野県予選会について
種別は、今年より男子の部・女子の部の二区分とする。競技方法は、射距離六十メートル、一メートル的的中制により八射(四ツ矢二回)と射距離

三十メートル、三十六センチの霰的的中制により八射(四ツ矢二回)を行いこの合計十六射の的中上位より順位を決定する。競技順序は六十メートル四射・三十メートル四射、この繰り返しの順で行う。表彰は、各種別とも五位まで。男女五段以上の者で弓具・服装規則に抵触しない者で上位二名を長野県代表とする。

概略は以上の通りですが詳細は平成十六年度長野県弓道事業計画書を参照願います。

北信越地区地連幹部指導者講習会に参加して

松本支部 杉田 博(教七)

去る二月二十一、二十二の二日間、富山県営弓道場で表題の講習会が開催されました。(主任講師 範士九段宮澤廣先生、講師 範士八段菅原豊吉先生) 長野県からは、外園公毅教士七段、清水克也教士六段、土屋隆教士六段と私の四人が受講しました。受講者は長野、新潟、富山、石川、福井の五県で計十七名(二名欠席)。
初日は宮澤先生の矢渡で始まり、私は第二介添を務めましたが、射場が東向きで、斜めに張られた防寒用のビ

競技部事業計画について

競技部長 清水 克也

平成十五年度競技部の事業運営につきまして多大のご支援ご協力を頂きまして誠にありがとうございました。競技方法などについて昨年と大幅に変更

二ールが朝日を反射して内部の動きが全く見え、第一介添との連携がうまくいきませんでした。『ぶっつけ本番だったから』という言い訳は許されない、と宮澤先生がおっしゃったのは、その後の一手行射についての講評の折でしたが、深く反省しました。菅原先生には『射手に回ることが多くなつて介添をする機会はありません』と、日頃の稽古をしつかりするように『との講評をいただきました。一手行射と講評で午前の部は終了。午後は二班に分れて立射礼と繰立持的射礼(定めの座をとらない)の講習。繰立射礼は人数の関係で四人立が多くなりましたが、まだまだ身に付いているとはいいい難く、多くの注意を受けました。最後に班別に射技指導があつて一日目が終わりました。

二日目は菅原先生の矢渡で始まり、定めの座をとった繰立持的射礼の研修。続いて一つの射礼と持的射礼をそれぞれ、二班に分れて指導を受けました。次々と先生の注意がとび、受講者の質問も出て、熱気のこもった研修になりました。

午後は介添動作と矢の処理、特に矢の受渡し、又立射も含めて射手への弓

の渡し方の留意点について指導を受け、最後に受講者の仕上げ行射で二日間の日程を終了しました。全ての動作は息合いに伴ってこそ、といういつてみれば基本中の基本を徹底的に注意された二日間でした。

二日間、風は強かったものの、二十度と暖かく、寒さ対策が裏目に出て、冷や汗もあいまつて肌入れに苦労する程でしたが、宮澤、菅原両先生の熱心な御指導で、充実した講習を受けられた事を感謝しています。



小林 克(教六)

競技力向上指導者講習会に参加して

の2日間、明治神宮での講習会に古澤県弓連会長はじめ皆様方のご好意により長野の大蔵務先生と参加させていただきました。

前日の27日に出発したのですが、持ち物の中に和服と道着、教本、副読本の指示があり、荷物は10kg以上になってしまいました。もともと肥満で腰と膝が痛い私にはえらいことでした。

講習初日、何をどうするのかかわらないので珍しくまじめに緊張していました。指導部長は宮澤廣先生、前班40人の指導主任は古澤博先生で百人力を得た気持ちになり急に元気になりました。鴨川会長に合わせて拝礼を行い、その後、礼記射義の斉唱を行いました。ところ、担当者は緊張のあまりゆきずまつてしまい、教本を見てやり直すことになりました。これは最初からえらいことになったなと他人のことながら不安になりました。次いで鴨川会長の講話が1時間ありました。「このように礼記射義の先導を上手にできない方がいるから講習会の意義があるのだと解釈すれば良いでしょう」と言われたのでさすがだなと妙に感心しました。「王磨がざれば器を成さず。人学がざれば器とならず」との言葉があり、また、「講習会は初心の場に立たされたものと思い一緒に勉強してゆこう」と述べられました。さらに、「一人の指導者の思いや哲学により道場が変わって行ってしまう」と、指導者の重要性についても述べられました。

次に鈴木三成副会長の矢渡があり、会は十分長いのに、射はあっさりしたもので、なるほど弓つてこんなに簡単

にできるものかと感心しながら見ていました。午後は審査の間合いで受講者が一手行射をしました。古澤先生からは全体の評価があり「皆物足りない。残身が決まらない。体配も決まらず、切れ切れである。呼吸を止めている時間がある。早気を隠そうとしている。ばんざい離れが見られる。」との言葉がありました。その後、班別指導があり、私は高橋範先生、須田定雄先生に指導を受けました。古澤先生以外の先生に指導を受けるのは初めてなので何か妙にありがたく感じました。

2日目は、鴨川会長、宮澤範士、古澤範士ほか13名、全員で15名の範士が、5人持的射礼を行いました。鴨川会長、宮澤範士、古澤範士、斎田範士、山下範士の最高指導者5人の先生の射は、あまりにも私のレベルからかけ離れていて、技を見抜くほどの力はまったくなくただ淡々と拝見させていただけっていました。次いで、新進気鋭の範士の先生方の射礼を拝見させていただきました。残身は決まるは長いは気合はすごいのは残身は決まるはもうすごいなのと言うありさまでした。その後、班別指導があり古澤先

生、佐竹万里子先生に指導してもらいました。午後は、研究協議ということ
で鴨川会長の面白い話(審査でも九割
の人は跪坐ができていない。私だって
痛いんだ。跪坐をどうするか考えなき
やいけないな)があつた後、質問の時
間がありました。質問は「射法訓で言
う書にいわくと言う書とは一体何の書
ですか」。宮澤範士から「教士にもな
って知らないんですか」ときついお言
葉があり、宮田範士が「私が代わって
お答えします(ややきつい口調で)。
これは備州竹林の書に書いてあること
です。」私は知らなかったのですがい
かにも知っているような顔をして当然
でしょうといった態度でうなずいてい
ました。最後に仕上げ行射となり、大
蔵さんが2本ともはずして帰ってきた
ので「やっぱりだめでしたか」と言っ
たら、「言われたことやったんだから
うまくいくはずがないよ。この次まで
にできれば良いんだ。小林も失敗して
こい」と変な励まし方をされて行きま
した。やっぱりだめでがつくりきました。
まとめ:この講習会は何千年にも渡
り引き続かれてきた日本弓道を現在支
えまた身をもって実践できる人達(先
生)の姿を直接真じかで見、さらには

その方々に手をとり足を取り教えてい
ただき、その人たちの温もりを直に肌
で感じ取り、自分もこの人達のように
弓道のすばらしさを未来に引き継いで
行こうという意欲を体で感じとらせる
ための会であつたと思えました。

投稿 岡谷市営弓道場の暖房施設について
岡谷市弓道協会

岡谷市営弓道場は平成11年8月に大
改造がなされ、明るく開放的な弓道場
に変身する事が出来ました。改造の目
玉の1つに暖房施設があります。

それは本座上部3mに吊下げられた
2基の遠赤外線暖房機です(写真参
考)。

この暖房機は反射式の遠赤外線以最
初は床暖房かと錯覚するほどの暖かさ



で驚きました。しかし「暖かい」快
適だ」と言っても数字的裏付けが無か
つたので、今回その測定を行ったので
結果を報告します。

測定はグラフにあるように、通常の
練習時間にいつもと同じ環境で90分行
いました。グラフから分かるように、
点火後約5分で上昇しはじめ1分1℃
の割合で上がっていき、点火後25分か
ら30分で、本座では30℃、射位では22
℃前後となりほぼ一定しました。その
時の室温(入退場口)は約16℃とな
り、道場全体が快適な室温になってい
ることが分かりました。

また安全面からガラス戸の材質を厚
さ5mmの透明ポリカーボネート(以下
PCという)を使用しました。

PCは衝撃に対し非常に強くアクリ
ルガラスの数十倍という大変丈夫な樹
脂です。現にその強度実験(実験者、
実験方法、弓の強さ等詳細不明)をし
た痕跡がありますが、表面に微かに鉄
の痕があるだけで、割れ・ひび等は全
然ありません。アルミサッシにも同様
の実験痕がありますが、PCの方がは
るかに丈夫であることは一目瞭然です。

寒い冬の長い信州においての弓道場
の耐寒対策は重要な問題ですが、岡谷

市営弓道場の暖房設備も1つの方法で
しよう。しかしこの暖房機は重量があ
り弓道場の構造、広さによっては利用
できませんが、窓ガラスのPC使用は
安全面から大いに利用できるものと思
います。

最後に暖房機の仕様を参考までに記
します。

メーカー:日精オーバル株

名称:油焚天吊り型遠赤外線放射

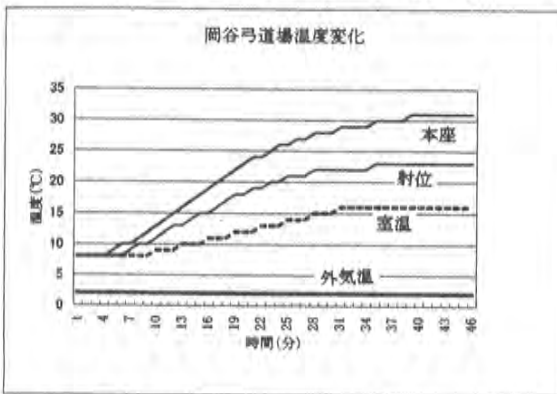
暖房機

出力:19.8kw 燃料消費量:2.4リットル/h

燃料:白灯油

サイズ:5.5m x 0.8m 重量:133kg

(文責 降旗昭雄)



測定日時 15年12月26日 19:00より

測定条件 A: 暖房機直下(本座) (床上90cmで測定)
B: 射位 (床上90cmで測定)

稽古時の心構えと着装について

指導部長 小池 梨枝子

皆さんは日々の稽古に対しどのような心持で向かっていらつしやいますか？ 弓道を始めて日の浅い人、何年も何十年も続けていらつしやるベテラン。それぞれの事情によって道場での目標や姿勢が異なってくるのは当然の事でしょう。体力維持と趣味を兼ねて、または射即人生とし技術も精神も向上させて行きたい。でも、その中でも自ずと守り通したい規範といったようなものがあると思います。この原稿を書く事になったのは、最近着装が乱れているのではないかと言う批判の声があるからです。弓道を知らない人だけでなく仲間内から見ても首を傾げたくなるような格好が増えているようです。着替えの辛い冬場なればこそこのとなのかも知れませんが、この際もう一度考えてみていただけませんか？

正しい服装は教本第一巻に載っています。秋から春にかけての和服用をぜひお勧めいたします。女性にとつての襟捌きは一つの難関であり、そこへ昨今は立射における捌き方も課せられまし

た。数をこなさないと身につくものではありませんが、夏の和服と違いますが、夏は汗対策にも余裕を持って向かえるのではないのでしょうか。我が県では四段からの和服用といった審査規定もありますから、これは決して高段者のみの問題ではないと思います。心身ともにシャキッとさせて日々の稽古に邁進しませんか？ 時間不足による矢数の減少、寒さの厳しさ、いろいろな事情があることは百も承知の上で改めて申し上げます。先輩の姿勢・態度を初心者には正しいものとして受け入れ、かつ見習っていくのですから責任重大です。

また、バッヂをつける位置ですが袴紐の右側に、という指示は全弓連で決まったものではないようですから、以前からの笹ひだへのつけ方で構わないそうです。いろいろなことが問題に出ますが絶対にこうでなくては、といった決まりは少ないのではないしょうね。各自でより良いお考えをみつけ、ぜひ実行に移して頂きますよう心より希望いたします。

●女子講習会に参加して●●●

長野支部 茂原 智子

平成十六年三月十四日の女子講習会に参加することができた。長野運動公園弓道クラブに入り、弓に親しみ楽しく練習してきたが、時には高い指標を目ざす厳しさに落ち込む事もあり、その度に学ぶ事の大切さを身を以て知ることができた。講習会には出来るだけ参加して、与えられた勉強のチャンスが無駄にしないことを心がける。主任講師から、今回は高校卒業してすぐの人達が仲間に入れられて参加、又初めて審査を受けようという人が先輩に行つておいでと励まされて参加、これらの初初しい人達を交えて講習会が出来ることを嬉しく思いますとご挨拶がある。続いて講師お二人による持的射礼が坐射と立射で同時の擗さばきで行われた。弓の姿も正しく保たれ、擗のさばかれていく白い線、手の動きが息合

も有効に使い、目と耳に意を集中して説明と動作を一致させつゝ見学し、筆記も出来て低段者としてはよかつた。「繰立持的射礼」「立射の擗さばき」の指導も行われた。先輩数人が受講者の中に入り、躓いている人を次々と手伝つて下さり理解し易い勉強ができた。講師の「伝えたい」という熱意と、受講者の「受け止めたい」との意欲が結ばれ、真剣さと和やかさに満たされたよい講習会場だった。どんな些細な事も、学ぶことによつて知ることが出来る。後は日頃の練習あるのみ。一朝一夕に出来る事ではないから継続し努力する。これが修練というものなのだろう、と思いつゝ終つた一日であつた。

第59回国体長野県成年男女二次選考会の結果について

強化部長 外 蘭 公 毅

3月20日、21日、県営飯田弓道場において一次選考会を通過し、強化練習を重ねてきた国体強化指定選手(男子12名、女子9名)について二次選考会を行った。的中は勿論強化練習の成績、射型、射技等総合的に判断して、次の選手を二次選考通過者とした。

◆成年男子5名(順不同)

中村健二(飯伊) 志村 仁(諏訪)

牧内和宏(飯伊) 小澤剛志(上伊那)

井垣貴夫(松本)

◆成年女子4名(順不同)

伊藤 綾(上伊那) 久保田智恵(上伊那)

山田昌代(諏訪) 長尾真樹子(諏訪)

弓道紹介

松川弓友会 菅 沼 隆

長野県の一番禺の国松川弓友会を紹介します。

松川町は暖かく暮らし良いところで二十世紀ナシやりんご狩で賑う所です。一度おいでなんしょ。

松川弓友会の行事は元旦0時から破魔矢射会、五日町の新年射会、節分百射会での記録は八十五本です、冬季弓道大会の地区館對抗射会、三月の豊饗大会は六十才以上、お宮の奉納射会は三神社の射場で四月と十月に。五月四日は城あと台城公園つつじ祭射会、その他納涼射会や敬老の日射会を行っています。

松川中学校で「地域の方から学ぶ」として弓道の講座を行いましたところ百五十名の希望者が有り、五十名受け入れ、弓道の話などをしました。今

後学校でクラブをつくれれば基礎から指導していきたいと思えます。

中学生からの弓道の講座の便りを紹介します。

弓道を初めて体験する人が多かったのですが講師の皆さんのお蔭で弓から矢を放つことの楽しさを学べました。この講座を通じて集中力や「ねばる」事を学んだような気がします、私達は講座で学んだことを大切にしていきたいと思えます。

(片桐 忍さんより)



私と弓道

上田市弓道協会

土屋 芳子(錬五)



だ初心者域を出ないとは言え、よそ目には単調にしか見えない弓を引くという動作を日々繰り返し、ただただ繰り返して十年が過ぎてきたことに驚かされています。

小さい頃から運動が得意で、学生時代も社会人になっても、学生時代もスポーツを楽しんでいたのですが、四十歳を過ぎる頃から持病の喘息がひどくなり、速歩すら困難になりました。そろそろと歩く以外は身体運動をしなくなつて数年もすると、膝を痛ませるようになり、整形外科医いわく、「筋肉が痩せて、痩せた所に水が溜まるのだ。運動をしなさい。」運動? 困つ



の手こずりのために通つて来ているのかもしれない。道場へと。私を根気よく導いて下さる先生方と、快い弓友達に支えられて、まだまだ私の手こずりの日々が続きます。

た! そして、弓に出合いました。弓に触つたことのない者の教室でした。これま弓は驚くような存在でした。これまで私が少しでも関わったスポーツのどれも全く違っていました。弓と矢を使つて的を射る動作だけをとり、他のスポーツのように、筋肉の瞬発力や巧緻性や柔軟性を上手に使って、運動神経の良さを発揮し征服していくことはまるで違うのです。まして、道としての弓は……。

長野運動公園弓道場増築落成

昨年の8月から増改築のため、大変ご不便をおかけしておりましたが3月末に完成の運びとなりました。

今回の増改築は、長野市の「スポーツ宣言都市」の趣旨に基づき「指導者の育成」「教室の講師強化」「指定選手の強化」という3本柱の一環として、国体、インターハイ選手の長野県選手団の20%を長野市民から送り出すと言う熱い思いが形になり、4月3日には関係者による落成記念式典と記念射会が行われました。落成式もようは次号で紹介いたします。

◆工事概要

- ・屋根付遠的射場(シャッター付) 間口18m、奥行9m10人立、屋根付棟、60人収容会議室(選手控室)、暖冷房完備の審査員席、男女更衣室、巻藁室
- ・近的射場 階段式観覧席に改築、審査員室増設、廊下拡張、射場に防寒用開閉式シャッター取付、巻上式シャッター新設

—大山—



女子講習会

○3月14日

千曲市営弓道場 参加者44名
塩尻市営弓道場 参加者37名

(講師)

◆千曲会場 小池 梨枝子 教士 降旗 奉子 錬士

◆塩尻会場 小池 房子 教士 近藤 明子 教士

「立射での擲さばき」「繰立ち形式による持的射礼」を重点に射技研修を行い、両会場とも多くの参加者があった。講師陣の松本市営弓道場における、事前打合せ

や、会員によるモデル研修などを行ったこともあり、統一された内容で、講師も参加者も熱の入った講習会であった。

各地大会 結果報告

十段じゅうだん的で競射

○一月一日/千曲市弓道場

参加者25名

十段の的は松代に頂きました檜皮先生から提供して頂いたものです。

長野運動公園からの会員も参加し、午前十時、矢振りによる立順を決め、白扇、金的何れか一手行射の後、昼食時間を含め十四時までの制限時間で、尺二寸的から三寸的まで一本づつ行射を行い、的中者は次の的へ進むめずら

しい射会が行われた。

午前中で都合のため帰った人もいましたが、残った人で記念写真をとりました。

成績は次の通り。

- ① 棚田千鶴(長野運動公園) ② 本藤幸恵(同) ③ 山崎利八(長鉄)

—宮崎・山崎—

第11回中野冬季100射会

○2月1日/中野市営/参加者55名

- ① 渡辺和人(松本) 72中 ② 西沢永子(松本) 70中 ③ 矢沢有史(松本) 70中 ④ 岡田宏之(飯山) 69中 ⑤ 河野利一(飯山) 68中

長野支部総会射会

○2月22日/千曲市弓道場/参加者46名、運動公園弓道クラブ、善光寺弓道クラブ、千曲市弓道会からも多勢の参加があり実施された。

成績は次の通り(12射)

- ① 等々力純子—9中 ② 大蔵 務—8中 ③ 荒木義博—7中 ④ 大久保まき子—6中 ⑤ 伊藤 梓—6中

・22位に特別(当日)賞として、連盟史購入補助一、〇〇〇円、24位には支部長賞が贈られました。

—大山—

第35回春季北信越学生弓道大会

平成16年3月12日(金)～14日(日)
福井県立武道館弓道場

◆団体▽男子①金澤大学B(有賀、樋川、友安、金井、長瀬)②信州大学A(宇都宮航、寺島洋平、曾我俊之、渡辺達哉、山田英雄)③新潟大学B(山崎、押木、荒木、山口、坂田)

▽女子①金澤大学B(大嶋、井関、多鹿)②信州大学A(金澤三紗子、山田理恵、弥永まり子)③富山医科薬科大学B(竹村、関根、宮崎)

◆個人▽男子①友安正人(金澤大学)②吉岡慎太郎(金澤工業大学)③吉田純(新潟大学)④有賀祐人(金澤大学)⑤長瀬博人(金澤大学)⑥宇都宮航(信州大学)

▽女子①弥永まり子(信州大学)②井関映美(金澤大学)③中野晶(金沢工業大学)④山岸絵里(金澤工業大学)

第66回穂高神社奉射祭大会

○3月17日/穂高弓道場/参加者270名

〔団体〕◆一般①駒ヶ根(原泰志、前沢秀夫、鈴木清重)②安曇(松井、松沢、丸山)③善哉館(広田、斉藤、土川)

▽女子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

◆高校①深志C(佐藤ひかり、小林久美子、本木由香里)②池田工業C(秋山、久保田、黒岩)③松商A(浜野、今井、大久保)

〔個人〕◆一般①丸山萬佐巳(安曇)②丸山喜男(安曇)③斉藤千恵子(善哉館)④前沢秀夫(駒ヶ根)⑤中山光康(諏訪)

◆高校①秋山直喜(池田工)②青柳昌志(深志)③那須明道(岡谷南)④若宮加奈(穂高商)⑤吉川清高(志学館)

3月19日～21日、中央道場において全国高等学校弓道選抜大会が開催され、男子個人の部で本道啓行選手(塩尻志学館)が第3位と技能優秀賞に輝いた。

▽男子個人予選(4射)
本道 啓行(塩尻志学館)

3中 決勝進出
▽女子個人予選(4射)
下田ゆかり(飯田女子)

3中 決勝進出
▽男子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

▽女子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

▽女子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

▽女子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

▽女子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

▽女子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

第22回全国高等学校弓道選抜大会

3月19日～21日、中央道場において全国高等学校弓道選抜大会が開催され、男子個人の部で本道啓行選手(塩尻志学館)が第3位と技能優秀賞に輝いた。

▽男子個人予選(4射)
本道 啓行(塩尻志学館)

3中 決勝進出
▽女子個人予選(4射)
下田ゆかり(飯田女子)

3中 決勝進出
▽男子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

▽女子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

▽女子個人決勝(射詰め)
3位 本道 啓行(塩尻志学館)

下田ゆかり(飯田女子) 順位なし

▽男子団体予選(12射)

飯田風越(遠山、古田、市岡)

8中 落選

▽女子団体予選(12射)

文化女子長野(峯村、横田、小島)

6中 落選

弓道教歌・用語

◆おもわずも……思わずも放れのゆるむ射手ならば、掛を捻りて引上げて射よ

小笠原流離れの歌。思わず知らず、離れのまぎわに至って、掛の緩む癖のある射手ならば、これを矯め直すには、掛に捻りをかけ、勝手を引上げるようにして、肩根や肘尻に、十分締りを持つて射よとの意である。

◆かけ 会・懸・掛

かけとは勝手の掛口の事である。

浅掛・深掛の二様がある。

編集後記

▼桜の花の便りと共に弓の季節が到来しました。寒い冬の稽古がここに来て次第に花開くことと思えます。長野県弓道連盟も二月の役員総会において平成十六年の事業、予算の承認によりスタートを切りました。会員全員心を一つにして活動を盛り上げて行きたいと思えます。

▼「弓道」誌によりますと、弓道の国際化等の動きが進んでいるように感じます。日本古来の武道を世界に広めて行くことは必要なことかと思えます。これをどのように進めていくか私たち弓道人にとって真剣に考えなければならぬことです。的の中にこだわること無く、自分を磨いていく中で多くの人に感動を与えられるような弓道の姿と、これの普及が大切なことではないかと思えます。

▼高校を卒業した弓道部員はどこへいつてしまうのでしょうか。ジュニアの活動も広められるようです。魅力ある弓道とはどのようなものかも論議し、弓道人口を増やしていきたいものです。今年度のご活躍を期待いたします。

(北村 彌 昌)

報部員まで。

投稿のお願い▼論文・随筆・各地区の話題など募集いたします。▼大会の結果・特に県の事業計画に記載されている大会について結果をなるべく早くお送りください。▼宛先は、各地区の広報部員まで。